File NO 16
2022.7

サトコジファイル

Satokoji File

福生市議会議員

佐藤こうじ

議員活動レポート

福生「生きがい都市」宣言！

サンキューフェスタ開催

武蔵野台児童館ワーカーズコープ15周年記念「サンキューフェスタ」が開催されました。NPO法人ワーカーズコープによる熊川児童館、田園児童館、武蔵野台児童館の指定管理者※1として15周年を向かえるにあたり開催された記念イベント。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から従来行われていた児童館まつりなどのイベント開催ができない状況が続いていましたが、当日は写真や映像によるこれまでの活動報告、子どもたちや地域の方々の出し物（写真は武蔵野児童館で行われたバルーンアートの様子）などが行われました。新型コロナ感染症が収束しつつある中、久しぶりに賑やかな子どもたちの元気な姿を児童館で見ることができました。児童館は、子どもの成長、発達そして自立を後押しする地域における施設で、小学生だけではなく、中高生も利用できるといった特徴があります。子どもの居場所であり、学校や地域社会との結び付きがさらに強まるよう支援してまいります。

※1 指定管理者制度とは、公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理してもらう制度のこと。経費の縮減や利用者のニーズに対応した、きめ細やかな質の高いサービスの提供が期待できる。

令和４年６月議会での一般質問

1 ウクライナ避難民への支援について

質問　市は５月からウクライナ避難民の受け入れを行なっており、受け入れの経緯と支援内容について質問しました。

答弁　人道的観点から、ウクライナからの避難民を受け入れる。４月７日に関係部署に対し、受け入れ支援体制を早急に整備するよう指示。支援内容は①住宅支援②生計支援③社会活動支援。今後、避難者を受け入れる場合は、御本人や御家族の意向に十分配慮するとともに、最善の対応を図るとのことでした。

Satokoji Point

市民から避難民の受け入れ支援を市にしてほしいとのご意見をいただきました。いち早く避難民の受け入れを表明し準備していったことは、多くの市民の気持ちに沿うものです。庁内でも連携を図り、引き続き厚い支援を要望しました。

2 まちづくりにおける多様な主体（企業・大学・近隣自治体 等）との連携について

質問　企業は、社会に対する価値提案を行う行動主体として社会的責任CSR※2を果たす大きな役割が期待されています。社会問題や地域課題を共に解決していくパートナーとして一層連携、協働していくことが必要と考え、企業との連携について質問しました。

答弁　大塚製薬株式会社との包括連携協定では、コロナ禍での熱中症対策事業への支援として合同制作した、「福生市オリジナル熱中症予防啓発ポスター」の提供を受けた。その他、子育て及び教育に関すること等、多岐に渡るものとなっている。企業との連携を積極的に実施していきたいとのことでした。

Satokoji Point

企業の理念や取り組みに対する市民の理解の促進とCSR※2の取組みにアンテナを建てて積極的に連携をするよう要望しました。

※2 Corporate Social Responsibility

質問　大学は学問の府・知の拠点であり、その研究成果等を地域に還元することが社会の発展には必要と考え、大学との一層の連携、協働を進めることについて質問しました。

答弁　多摩地域の大学が核となる「学術・文化・産業ネットワーク多摩」に加盟しており、行政以外のアイデアやノウハウを得ることができる。教育委員会は、慶應義塾大学と共同して幼稚園・保育園の教育・保育の現状について調査・研究をおこなうとともに、専門的見地から助言を受けている。今後も積極的に進めていくとのことでした。

「学術・文化・産業ネットワーク多摩」主催
「第５回まちづくり・ものづくりコンペティション2018」表彰式の様子

Satokoji Point

慶応大学とは連携を強め、大学関連機関や大学全体との包括連携協定に向けた努力をするよう要望しました。また、職員の専門性、政策能力の向上、リカレント教育、データ分析による施策へ反映等を図るためにも大学との包括連携協定を進めるよう要望しました。

質問　多様化する市民ニーズへの対応や将来の財源確保の難しさから、公共施設の総量抑制に係る公共施設の共同設置・運営が必要と考え、その広域連携について質問しました。

答弁　各自治体で保有している施設を機能分担し、相互所有をすれば、施設の保有量の抑制や削減に効果が得られることが考えられるが、自治体同士の利害の一致などの課題も多く、連携の素地や機運の高まりも必要である。広域の観点を踏まえた適正な施設の保有量、再配置の研究をしつつ、西多摩広域行政圏などのプラットホームの活用を捉え、連携の素地がつくれるのか可能性を追求していくとのことでした。

Satokoji Point

「西多摩地域広域行政圏計画」には今後５年間の取組み内容として「公共施設の広域利用、再編・集約、維持管理等の検討」等が挙げられています。「連携の素地」を固めていくことを強く要望しました。また「使用料・手数料等受益者負担適正化方針」の広域利用の理念について検討するよう要望しました。

3 子どもたちの内なる力と可能性を引き出す教育について

質問　国連の子どもの権利条約に規定されている意見表明権を保障することで、子どもの主体的自発的な学び、自分で考える力、ひいては「内なる力と可能性」が引き出され、主体的な人間形成につながると考え、意見表明権の所見について質問しました。

答弁　コロナ禍のいま、従来にも増して、子どもの意見表明を重視する必要がある。不安や怒りの気持ち、孤独感等、児童・生徒がどのように感じているか、子どもを権利の主体として尊重し、その内なる力と可能性を一層引き出す教育を推進していくとのことでした。

Satokoji Point

意見表明の「機会と場」はまず第１に家庭、第2に地域社会、第3に学校が考えられます。保護者にも意見表明権の大切さを伝え、さらには地域社会にも伝えることを要望しました。

質問　子どもたちが主体的に意見を述べる機会と場の創出について質問しました。

答弁　子供たちが主体的に意見を述べる機会の基軸は、日常の授業の場である。ICT機器を最大限活用するなどして、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進している。特別な取組としては、令和3年度は、コロナ禍での気持ちを表現した「子ども川柳」、福生いじめ防止標語コンクールや、福生子ども議会等の取組みを実施した。

Satokoji Point

ICT機器による教育の本質的な効果が表れてきている。更なる有効な活用に向け教師のICT研修の充実を要望しました。また、子ども議会が「子どもの権利条約」の具現化であることを教師、児童・生徒そして保護者もよく理解し銘記していただくよう要望しました。

Pick Up NEWS

講演会「西多摩の『新しいブカツ』について考える」に出席しました

講演会「西多摩の『新しいブカツ』について考える」（主催：子どもの未来づくり応援団／場所:石川酒造株式会社 向蔵）に出席しました。講演者は浅野大介氏※3。私は3月に「部活動の現状と課題及び展望について」一般質問しましたが、非常に参考になるお話が聞けました。「部活動の地域移行・民間クラブ移行」という政策がなぜ必要なのか。本質的な課題を明確にしなければ「手段の目的化」を招きかねない。部活動の地域移行が、教員の働き方改革の手段から目的にすり替わってしまいかねない。また、2020年代前半に完了すべき施策として次の5つを挙げていました。①あらゆる中高生の競技大会の再設計 ②学校部活動の法的位置づけの明確化 ③活動場所・活動時間の再編 ④優勝・検校コーチの育成・確保 ⑤所得格差由来の機会格差を埋める資金循環創出。講演後、浅野氏にお時間をいただき、自治体がこうした課題等にどのように取り組むべきか、また地域貢献の観点からも企業に積極的に働きかけを行うことなど、意見交換させていただき、大いに盛り上がりました。ご縁を大切に、また所属する多摩スポーツ議連を通じて、この問題について研究していきたいと思います。

※3 経済産業省 サービス政策課長、デジタ庁統括官付参事官。経済産業省「未来の教室」プロジェクトを発足させ、千代田区立麹町中学校の学校改革に参画。GIGAスクール構想を文科省と共に立ち上げ、さらには「教育DX」を企画、推進。

佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

1968年 東京都日野市生まれ。
日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒
小学生時代：カブト虫・クワガタや魚獲りに明け暮れる
中学生時代・・・卓球部所属（市や地区大会で優勝！）
高校生時代・・・卓球部と体操部に所属、ロックバンド結成
大学生時代・・・法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属

職歴～現在

2015年 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業（型枠工事／二級建築士）を経て、福生市議会議員に初当選。議会運営委員会委員、総務文教委員会委員、議会改革に関する特別委員会副委員長、横田基地対策特別委員会副委員長、西多摩衛生組合議会議員

2019年 福生市議会議員に再選。総務文教委員長、議会運営委員、横田基地対策特別委員
議会改革に関する協議会座長代行、福生病院組合議会副議長、市議会会派 正和会 政調会長

2021年 議会運営委員長、総務文教委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長
瑞穂斎場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長

生年月日	1968年10月28日（さそり座） 血液型 O型
趣味特技	カラオケ、卓球、読書（社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです！）
政治観	地方自治は民主主義の学校である（J.ブライス）
家族	福生生まれの妻（介護福祉士）、社会人の長男・次男、大学生の長女
座右の銘	処人謙然（しょじんあいぜん）「人と接するときには和やかな態度で接すること」
地域活動	保護司、（社）不動福祉会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問 福生市防衛協会事務局長、福生市ゲートボール協会事務局長、多摩西部議員交友会会員 ふっさボランティア・市民活動センターFVAC運営委員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問

メディア出演情報

FM たちかわ
『I.S.M.（イズム）生特番』
第2・4週 日曜日 16：00～18：00

番組内出演コーナー 16：00～16：25

福生市議会議員 佐藤弘治の
「市議会議員は毎日何をしているのか?」
地方議員の活動や考えを皆さんにお伝えします！

84.4 fm エフエム たちかわ FM TACHIKAWA
ご視聴方法はこちら➡

佐藤こうじ
オフィシャルサイト
https://www.sato-koji.com/

福生 生きがい都市宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局
TEL/FAX 042-849-2196
koji.sato.office@gmail.com
〒197-0022 福生市本町79

［発行］佐藤こうじ後援会 福生市本町79 討議資料